

領収書



日付: 2018年2月09日
領収書番号: R-1801216140

小倉 健一 御中

ラクスル株式会社



〒141-0021 東京都品川区上大崎2-24-9 アイケイビル 1F
tel: 03-4577-9200 mail: contact@raksul.com

¥7,884-

但し 商品代として
上記金額を正に受領いたしました。

ご注文番号	商品名 / 商品仕様	部数	出荷日	金額
1801216140-01	(第2回報告) チラシ・フライヤー, A3, 両面カラー, 光沢紙 (コート), 標準: 90kg	1,000部	2018年 2月9日	¥7,300
	注文内容:	商品:		¥7,300
	注文合計:			¥7,300
	消費税:			¥584
	ご請求合計金額:			¥7,884
	お支払い方法:			クレジットカード

領 収 書

平成30年2月16日

小倉 健一 議員

金額
(消費税込)

1,430円

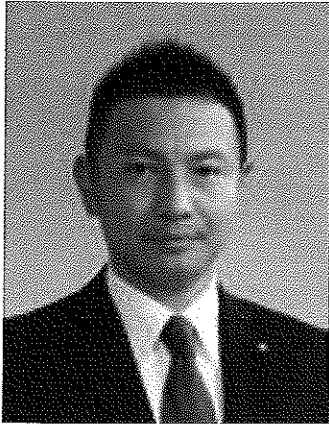
第2回佐野市議会議会報告会費用分担金として、上記の金額を領収しました。
(平成29年11月16日、17日、18日報告会開催)

佐野市議会報告会運営会委員長

鈴木 靖宏



※金額や発行元などが、枠内に収まるよう、また重ならないように添付してください。



佐野市議会議員

おぐら健一 議会報告

平素より大変お世話になっております。

平成30年はこれからの佐野市12年間の各施策の基本となる第二次佐野市総合計画基本構想のスタートの年。出流原PAスマートインターチェンジの開設も決定、平成34年開通に向けて周辺開発計画の動向、環境の変化に伴う人口の変動など注視していかなければなりません。

「美しいさの、住み良い地域社会、

次世代のため活動していきます」

— みなさんのお声をお聞かせください —

佐野市議会議員 おぐら健一

〒327-0102 栃木県佐野市出流原町2120

電話・ファックス：0283-25-0410

携帯：090-6850-0939

メール：nippon-kenni.1978@ezweb.ne.jp

12月議会

第二次総合計画基本構想の策定について 質疑(抜粋)

【 赤見地区周辺の都市核への位置づけについて 】

小倉健一 質疑：

特に都市機能を集約する箇所、佐野駅周辺、佐野新都市周辺、田沼駅周辺、葛生駅周辺の4つの都市核に加え、赤見地区周辺を都市核として位置づけできないでしょうか。掲げる3つのリーディングプロジェクト、観光、スポーツ、産業文化立市の側面も濃厚にかかわり、教育、子育ての現場も、小中一貫の見定めも含め、かかわる地区でございます。

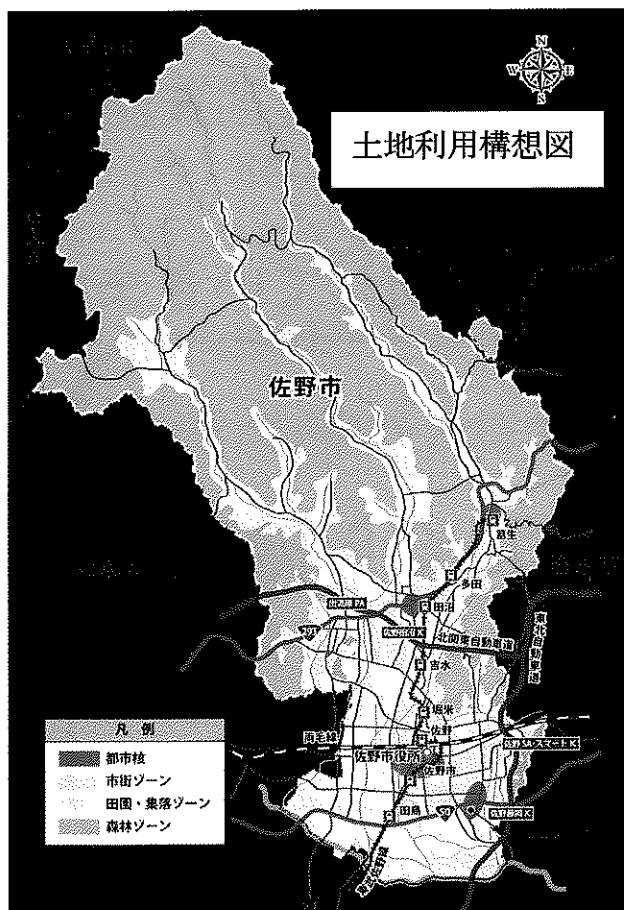
コミュニティー拠点整備の観点から、今後佐野市として重要な役割を担う赤見地区をどのようにお考えでしょうか。

岡部市長 答弁：

赤見地区周辺の都市核への位置づけでございますが、まず都市核の考え方につきまして、一定の条件を備えた地域4カ所を都市核とさせていただきます。赤見地区におきましては、現在の※都市計画マスタープランでは、佐野西部地域として、「美しい水と農の風景のある都市づくりを目指すテーマ」といたしまして、都市的土地利用ゾーン、田園的土地利用ゾーン、自然的土地利用ゾーンとして土地利用の方針を設定しております。この方針をもとに土地利用を行っているところでもございます。

なお、新しい※都市計画マスタープランを現在策定中でございますので、第2次総合計画基本構想や国土利用計画佐野市計画を踏まえまして、出流原弁天池を中心とした観光拠点、運動公園を中心としたスポーツ拠点、そして出流原PAスマートインターチェンジの設置及び総合的開発構想など、地域の特性を生かした、また地域の実情にあった形で赤見地区の土地利用のあり方をお示ししていきたいと考えております。

※都市計画マスタープランとは・・・
1992年(H4)の都市計画法改正により規定された「市町村の都市計画に関する基本的な方針」のことです。



12月議会 一般質問（抜粋）

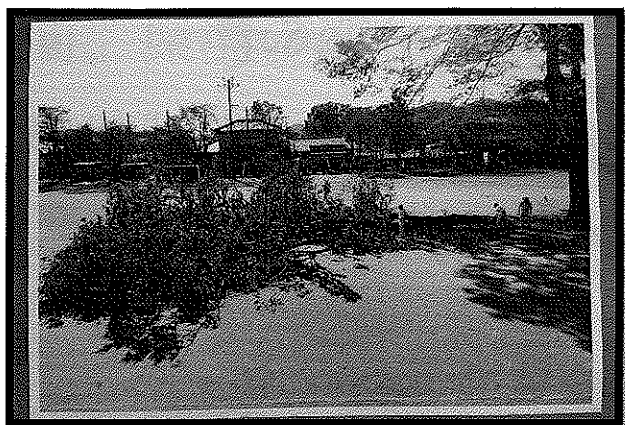
【校庭管理について】

小倉健一 質問：

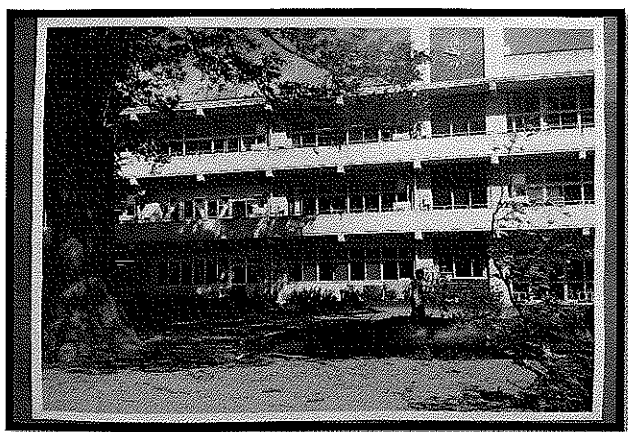
現在各学校では、剪定が行われていない手の届かない樹木、老木が増えています。最悪の事態にならないよう新規事業として、処置の必要性の高いものを特定し、剪定、伐採を行うといった取り組みができないでしょうか。

教育総務部長 答弁：

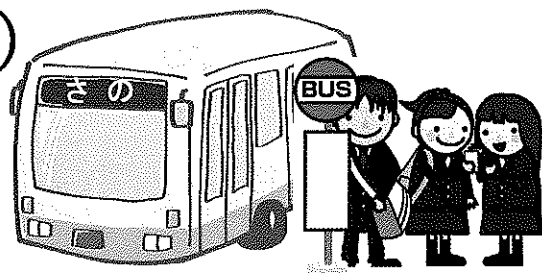
今後校舎等の施設の老朽化に対する対応を実施していかなければならない状況にあります。樹木に対する新規事業につきましては現在のところ予定しておりません。安全安心を第一義に考え、状況に応じて小中学校維持管理事業の中で対応していきたいと考えております。



出流原小の校木「けやき」の倒木直後



10分前まで児童が校庭にいました



【佐野市営バスについて】

小倉健一 質問 ①：

市営バスは交通弱者に十分配慮されたものでなければなりません。高齢者福祉に関係する施設への接続、路線の考え方についてお伺いします。

市民生活部長 答弁：

佐野市地域公共交通網形成計画では、福祉施策と公共交通施策との役割分担や、連携方法を位置づける予定でございます。路線の運行や見直しを検討する上では、高齢者福祉施設だけではなく公共施設や医療施設、商業施設等の立地や市民の移動実態を十分に考慮しながら、関係部署との連携を図ってまいりたいと考えております。

小倉健一 質問 ②：

学生の通学利便性向上のためにも、「足利線」の改善、路線変更等が必要と思われまます。当局の見解を伺います。

市民生活部長 答弁：

足利線につきましては、利用者数は毎年度減少傾向にあり、収支率は路線全体の中で最も低い状況となっておりますので、利用者の利便性を考慮しつつ、運行形態を含む路線の抜本的な見直しが必要であると考えております。来年度から着手の市域全体を見渡した路線の再編に向けた取り組みの中で検討してまいりたいと考えております。

おぐらのピックアップ

1.◇市有施設の見直しについて

(適正配置による施設総量※の縮減)

目標：平成30年度～

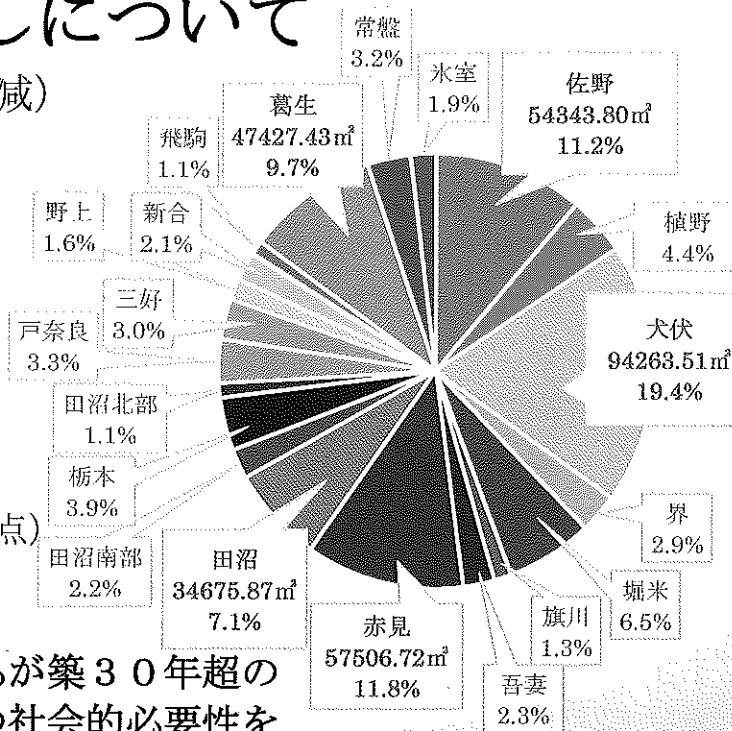
30年間（平成59年度）

までに「25%」縮減。

10年間×3期に分け検討。

※全404施設（H26.3/31時点）

原則、延床面積50㎡以上の施設



学校、公営住宅、医療施設等51%が築30年超の老朽化。各施設の現状を捉え、今後の社会的必要性を十分勘案し精査していく必要があります。

地域20地区別の保有状況（延床面積）

2.◇出流原 PA 周辺開発計画について

9月一般質問より住民への説明を求めています。

平成30年1月現在の状況

- ・ゾーニング区分 A～F の順に行う方針。
- ・区分によっては中・長期的になる可能性が高い。
- ・説明会は状況が整い次第実施。

平成29年11月9日に開港となったインランドポートを物流の拠点とし、関連される動きはどうか。「水と緑と万葉のまち」を掲げながらの産業立市の施策。今後の住まい・地域環境に直結します。みなさまのご意見を伺い努めて参ります。

